

かめだ図書館だより

新潟市立亀田図書館（江南区文化会館内）第48号 令和7年3月発行



「りんごの棚」ができました



場所は児童コーナー
「おはなしのへや」
出入口のすぐ左です。



「りんごの棚」
国際ロゴマーク

「りんごの棚」は、障がいの有無にかかわらず、誰もが楽しめる資料を集めたコーナーです。すべての子どもたちが読書の喜びを体験できる場所として、スウェーデンの図書館で始まりました。障がいのある子どもたちを支援するため作られた、りんごのおもちゃが由来です。

・点字つきさわる絵本

指でさわって楽しめるよう、絵も凹凸で表現されています。

・手話／指文字つき絵本

本文に手話や指文字のイラストが添えられています。

・LLブック

LLとはスウェーデン語“Lattlast”の略で、「やさしく読める」という意味。多くの絵や写真とともに、わかりやすい文章で書かれています。

そのほか、障がいについて理解を深めるための資料を大人向け／子ども向けに分けて置いています。

読書を助ける便利ツール

拡大鏡、電子ルーペ、リーディングトラッカーなど、読書を補助するさまざまな道具を用意しています。

館内でどなたでもご利用いただけます。職員へお声かけください。



大活字本もあります

視力の弱い方、文字の見えづらくなった方でも読みやすいよう、大きく太い文字で書かれた資料がそろっています。

どなたでもご利用ください。





俳句の窓

江南区は昔から俳句が盛んな土地柄です。
地域の俳人・小嶋紅円こうえんさんから、
江南区にゆかりのある俳人の句を紹介させていただきます。

^{うらら}
麗かや子らバイバイと稚魚放つ

加藤まち子

鮭などの卵を人工で孵化させ、稚魚になったら川や海に放流する子どもらの様子を詠まれた。児童や稚魚たちの成長を願う気持ち、バイバイと声を掛けている一瞬を「麗か」と云う季語を以てまとめられた。中央区長瀬在住の人の作品。

^{つつが}
恙なき日々を重ねて日永かな

^{ひなが}
吉田美峯みほう

江南区亀田在住・本名・吉田キミ子さんの作品。日永は、春三月の季語。寒く長い夜をようやく乗り切り春分を過ぎる頃は、明るい時間も少しずつ延び、日中の気温も上がる。気分も何かのびやかとなる心持ちを一句に詠まれた。

小嶋紅円さん……本名、小嶋健一。江南区下早通生まれ。田村山火・紅子さんか夫妻に俳句を教わる。著書に『世継よつぎほだ楯』、『続世継楯』（俳句・俳文集）。



展示コーナーのようす

他館本コーナーでは
ウメちゃんたちがお花見中♪

一般展示

「〇〇歳になったら」

健康、家計、仕事のこと…
人生の節目に読んでおきたい
本を集めました。(5/4まで)



展示中の本も
貸出できます！

児童展示「あたらしいこと はじめよう」

この春、ひとつ成長するあなたへ。
新しくやりたいことを本の中から
見つけてみよう！ (5/4まで)



『かめだ図書館だより』第48号 令和7年3月発行(年4回発行)

編集・発行：新潟市立亀田図書館 新潟市江南区茅野山3-1-14(新潟市江南区文化会館内)

電話：025-382-4696

ホームページ：https://www.niigatacitylib.jp

FAX：025-381-8003

メールアドレス：kameda.cl@city.niigata.lg.jp

新潟市立図書館公式X (@niigatalib)：https://x.com/niigatalib

